



## トーキョーは、 ぼくらの未来に 真剣ですか。

トーキョーは、「脱炭素」という宿題を抱えている。2030年までに温室効果ガス50%削減を目指した、「カーボンハーフ」を掲げる。経済と環境、その両立を実現するために。鍵を握るのは、中小企業だ。しかし、脱炭素化に取り組む企業は半分にも満たない。

ウチがやっても、世の中は変わらない。そんな経営者の空気を変えていかなくては。真剣な面持ちでそう語るのは、きらぼしグループのカーボンニュートラル支援担当者の一人だ。脱炭素化は、経営の足かせではない。むしろ、その歩みを加速させることを伝えたい。コスト削減につながる。補助金の仕組みもある。新たなビジネスアイデアを発見するケースもある。さらに、海外市場や若い世代を引きつける力にも。向き合った後は、責任をもって背中を押す。きらぼしグループは、情報発信からコンサルティング、ファイナンスまで。自治体との連携にも積極的に動く。時代を追いかける変化ではなく、次の時代をつくる進化へ。

今の子どもたちが、大人になったとき。  
その目に映るトーキョーは、世界に誇るクリーンな都市だろうか。  
温暖化ではない、地球が沸騰化している。  
そう宣言された現在、トーキョーは未来に試されている。

TOKYOに、つくそう。



東京きらぼしフィナンシャルグループ

きらぼし銀行

Uj Bank

